

Ⅲ. 本庄授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供するよう努めました。また、日中活動の場の検討や職員の質の向上を図り、魅力ある施設利用に努めました。また、一定条件のもと、送迎を行い、継続的な施設利用につながるよう努めました。

生活介護事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活上の支援や療育的・創作的活動および生産活動の提供を行い、必要な支援を行いました。

就労継続支援B型事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、福祉的就労、その他の活動の機会を通じて、知識および能力の向上のために必要な支援や指導を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守りや社会に適應するための日常的な支援・指導を行い、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

多機能型事業所として、行事等においては1事業所として仲間生活を大切に相互に交流を図れるよう支援を行いました。

開所日数 267日 (内、コロナ感染防止のため在宅支援7日)

Ⅰ) 本庄授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス (生活介護および就労継続支援B型)

サービス提供時間 9:00~16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和5年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護：定員25名、就労継続支援B型：定員15名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
就労	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
合計	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396

年齢(令和5年3月31日現在)

	~18	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	合計
男	0	1	3	5	12	0	1	22
女	0	0	1	1	5	4	0	11
合計	0	1	4	6	17	4	1	33

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和5年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	2	10	8	1	22
女	0	0	2	2	5	0	2	11
合計	0	0	3	4	15	8	3	33

市町村別(令和5年3月31日現在)

小牧市	32名	春日井市	1名
-----	-----	------	----

(2) 職員 20名(令和5年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員14名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、事務員1名、調理員6名、嘱託医師1名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

生活介護

(1) 生産活動

利用者の能力や精神面での安定を図れるよう考慮しながら、個々に合った生産活動の提供を行いました。

【内容】 受託作業：ガス器具部品の組立、電気設備部品の組立
自主作業：資源回収

【時間】 9：30～15：30の間

(2) 日中活動

対人関係を考慮しながら、集団における活動を通して利用者がお互いに仲間関係を大切にできるよう支援・指導に努めました。

情緒的安定のための療育的な活動や体力の維持増進のための身体を動かす活動等を楽しみながら行うことで、心身の健康づくりを図りました。

【内容】 チャレンジ活動：ウォーキング、創作・日常生活に関する活動等
療育的活動：音楽療法

【時間】 13：00～15：30の間

就労継続支援B型

(1) 就労支援

「働くことの意味の理解」を目標に、意欲・技術・社会参加等、労働に対する姿勢を利用者のニーズに合わせて支援・指導に努めました。

利用者個人の能力や適性を把握し、工程分析を行うことで利用者個人に適した作業および作業環境や配置を提供し、労働の意欲が高められるよう支援・指導に努めました。

【内容】 施設内作業：受託作業：ガス器具部品の組立、ウレタン加工、電気設備部品の組立
自主作業：縫製、紙工芸 等

施設外就労：受託作業：ペットボトル手選別

【時間】 施設内：9：30～15：30

施設外：9：20～15：50

(2) 施設外支援

施設外就労および一般就労希望の該当者が無かったことから就労に向けた支援は行いませんでした。

(3) 就労定着支援

一般就労した利用者に対し就労後の定着、維持ができるよう訪問等の定着支援を行いました。

生活介護および就労継続支援B型（共通）

日常生活・日中活動支援

「活動を通じた豊かな生活」を目標に、日常生活や各種活動および生産活動を含めた幅広い日中活動を通して、基本的な生活習慣の確立や自立、自活に役立つよう支援・指導に努めました。

- ・ 基本的な生活習慣 ～ 身辺処理、みだしなみ、食事マナー等
- ・ 意思決定や生活に密着した活動 ～ 調理等
- ・ 自己表現、新たな能力の発見や情操面での安定 ～ いきいき活動：リトミック、創作活動、体操
- ・ 生活全般に関わる学習会 ～ 一休さん：私たちの住んでいる街について
避難訓練～正しい避難の仕方を学ぼう～
干支について
防災（地域の避難場所）について
令和5年度に向けて変わること
- ・ 体力の維持、増進を図る活動 ～ 健康体操、ラジオ体操、ウォーキング等
- ・ その他 本人活動：行事役割分担等

3. 各種会議・職員研修・広報

・会 議

職員会議 (年22回)	運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
個別支援会議 (年22回)	利用者個々の処遇向上、モニタリング報告、個別支援計画の作成・見直し・確認等
評価会議 (年3回)	利用者の作業姿勢および工賃等
サービス評価会議 (年1回)	施設サービスの自己評価
作業部会 (年12回)	作業分析、就労・実習支援、就労後支援等
生活部会 (年12回)	施設内の生活支援全般、ボランティア受入、防災備品等
広報部会 (年13回)	「なかまの“わ”」、ホームページ・フェイスブック等各種PR等

・職種別合同部会

支援スタッフ部会 (年各1回)	作業部 (危機管理対応等) 生活部 (施設サービス評価) ※必要に応じて電話にて連絡
事務担当者部会 (年14回)	予算作成、会計運用、インボイス等
調理担当者部会 (年0回)	
保健・看護担当者部会 (年1回)	薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等 ※必要に応じて電話にて連絡
広報担当者部会 (年3回)	広報紙、ホームページ、SNSの扱い方 ※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

施設外研修	各種団体等の研修会 (7回、延べ7名) ※オンラインを含む 普通救命講習会 (年3回)
法人内研修	職員合同研修会 (年1回) ※各事業所にて ・講 義～「意思決定支援」について ・研修報告～「障害者虐待防止に関する研修」について 「安全運転管理講習」について
施設内研修	年度末研修会 (年1回、15名) ・「障害者虐待防止法の理解と対応」について ・「小牧福祉会 身体拘束の適正化のための指針」について 出張報告会等 (年4回)
資格取得奨励	該当なし
自主研修利用	該当なし

・広報紙

授産所だより“はばたき”(毎月1回 利用者) 発行部数 37部

・実行委員会

本庄ふれあいまつり実行委員会 (年1回)

4. 行事等の活動

月	日	行 事 等 の 内 容
4	1	入・開所式
	21	保護者会総会
	26～29	ワックスがけ
5	18～19	1日グループ活動
		作業参観
6	9	防災訓練
	29	レントゲン検診 (あいち健康クリニック) 保護者向け講習会<中止> ※情報提供として資料配布

7		
8	13～15 26 29	夏季休暇 消防設備点検 健康診断（しのおか内科クリニック）
9	1 3 29	防災訓練（あいちシェイクアウト訓練に参加） 防災訓練 歯科健診
10	31	インフルエンザ予防接種（しのおか内科クリニック）
11	5 11 13	本庄ふれあいまつり<中止> 代替え行事 本庄ミニまつり開催 小牧福祉会職員合同研修会 スポ・レクのつどい（パークアリーナ）
12	23 29～1/4	小牧ライオンズクラブ慰問 年末年始休暇
1	5 14	仕事はじめ 新年会
2	14 17	消防設備点検 電気設備点検
3	2 10 23 31	防犯訓練 防災訓練 次年度事業説明会 利用者年度末特別休暇、年度末研修会

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（年0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
5/28～29	こまき産業フェスタ（中止）	11/19～20	みんなの生活展（いきいきこまき）
	たがた苑まつり（中止）	11/22	小牧市社会福祉大会
	さまふえす in 味岡（味岡中）（中止）	12/3	いわさきふれあいまつり
	野口の郷ふれあい祭り（中止）	1/10～20	小牧特別支援学校PTAネットショッピング
10/15～16	福祉展（小牧市民まつり）	2/25	こまき福祉のお仕事フェア
11/5	本庄ふれあいまつり（中止）	年3回	セルフ即売会（委託販売）
11/13	あつまれ！本庄まつり（本庄区）	年8回	小牧市老人福祉センター（野口の郷）

常設店（委託販売）：ふれあいセンター、キャロット

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人 数
実習	6/13～6/24	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部3年生）	2名
実習	6/27～7/1	産業現場実習（小牧特別支援学校 高等部3年生）	1名
実習	7/4～7/8	産業現場実習（春日台特別支援学校 中学部3年生）	5名
体験	8/5～8/26	中高生福祉体験学習、夏期高校生ボランティア活動	4名
実習	10/17～10/28	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部3年生）	2名

◎体験	10/24～12/9	教員免許特例介護体験（名古屋学院大学、名古屋造形大学）	14名
◎実習	5/23～3/10	保育士実習（名経大、江南短大、名女短大）	7名

◎は、愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事業内容	人数等	
本庄ミニまつり	1団体	9名
いきいき活動講師（音楽療法）	1個人	9回
いきいき活動講師（創作）	1個人	7回
いきいき活動講師（リトミック）	1個人	8回
健康体操講師	1個人	9回
日中活動（作業、活動）	2個人	3回

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）

10. 施設整備（設備整備）関係

公用車車両整備

納車日 令和5年3月31日

事業費 総事業費…2,760,005円

中央競馬馬主社会福祉財団助成事業 助成金…1,790,000円

自己資金…970,005円

II) 日中一時支援事業（公益事業）

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援および日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を確保し、見守り等、支援を行いました。

(2) 契約者数 32名（令和5年3月31日現在）

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	12
タイムケア	4	5	5	3	6	3	9	12	5	6	9	5	72
延日数	6	5	6	4	7	4	9	13	6	7	10	7	84

(3) 職員 9名（令和5年3月31日現在）

管理者1名、生活支援員8名 ※兼務職員数を含む